

# 2017 年度活動報告書(14 期)

2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 つるがしま里山サポートクラブ

# はじめに

## ご挨拶

本年度は、NPO 設立 14 年目を迎え、任意団体から活動開始 16 年目を迎えることが出来ました。会員皆様やご支援いただいた、市民の皆様、行政の方々に厚く御礼申し上げます。

この間、多くの会員の皆様の参加や市民の皆様のご支援で、里山の維持、自然体験活動を継続することが出来ました。

現在、会員 26 名、賛助会員 38 名、合計 64 名であり、これまで、つるがしま里山サポートクラブの活動に参加いただき、各種の事情で、退会された方が 69 名と、多くの会員の方々のおかげで現在の活動継続につながっています。皆様には感謝しています。

一方、会員の平均年齢も新たな方々の参加により、毎年 0.7 歳程度の加齢を重ね 66.5 歳前後となっています。

市内では、オリンピックに関連して都市計画道路の整備のため樹林地の伐採が進みました。

農大跡地の工業開発の進捗により新たな緑地の創設などが計画されていることなど、新たな維持体制づくりが求められています。

国レベルでは、森林環境の保全を目的とする地方新税の創設などが計画され、これら財源の活用などが期待されます。

このように里山など森林の保全体制の強化の中で、平成 30 年度は、大きく森林の保全・維持体制が変革する年ともいえ、私たちの活動の再構築が必要と考えています。

今後とも、皆様のご協力・ご支援をお願いします。

平成 30 年 5 月

特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブ

代表理事 小澤 邦彦

## 内容

1	つるがしま里山サポートクラブとは.....	1
2	つるがしま里山サポートクラブの活動経過.....	2
3	2017年度 総会(14期).....	3
3.1	2017年度(14期)、総会、会議.....	3
3.2	2016年度、2017年度、2018年度、助成事業.....	3
3.3	活動計画書.....	4
3.4	平成29年度の活動一覧.....	7
1.	計画目標の取組と活動範囲.....	7
1.	特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブの活動分野.....	8
3.5	平成29年度に実施した事業.....	9
1.	里山で自然体験できる活動を行う.....	9
2.	里山の役割を理解できる資料を作成.....	9
3.	市民の森を活用した市民交流イベント.....	10
4.	まちづくりへの参加.....	11
5.	里山の価値を評価出来る仕組みづくり.....	11
6.	木工教室.....	12
7.	平成29年度活動一覧.....	13
4	2018年度(平成30年度)の事業計画.....	14
4.1	活動目標.....	14
4.2	月別活動計画.....	15
5	2018年度(平成30年度)の収支計画.....	16
5.1	2018年度(平成30年度)予算(案).....	16
6	活動パンフなど.....	17

## つるがしま里山サポートクラブとは

市内に残された樹林地・里山（以下、里山という。）の保全・回復活動を継続的に実施することにより、次の目的の活動により、次世代への里山の継承を目指しています。

- ① 鶴ヶ島の自然環境を維持・発展させることにより、市民の皆さんに潤いのある緑豊かな市民生活が享受できる環境を提供する。[環境保全]
- ② 現状の鶴ヶ島の里山は減少傾向が続いているが、残された市民の森等を維持・継続することによって減少への歯止め効果を期待する。[里山減少の歯止め]
- ③ 子どもたちに里山の自然環境を体験してもらうことで、自然の豊かさ、素晴らしさを理解してもらい、次世代への長期的な礎づくりを実施。[次世代への継承]
- ④ 鶴ヶ島市は少子高齢化や今後の財政逼迫化状況を踏まえ、ボランティアや市民活動団体を有効活用する方向であり、行政との協働活動を一層進める。[行政との協働]
- ⑤ 市民の森は各地の支え合い協議会、市民活動団体、カローレ等との協働イベント会場としての役割があり、他の市民団体にない“場の提供”機能を生かす。

[市民活動のプラットフォーム]

- ⑥ 以上の活動を通して、会員相互間の親睦を図りながら、楽しく遊ぶ時間を共有する。  
[会員親睦]



環境保全



里山減少防止



自然体験



行政との協働(市民の森)



市民活動のプラットフォーム (会員親睦)

## つるがしま里山サポートクラブの活動経過

本クラブの始まりは2002年に市の広報で集まった市民たちが、高德市民の森で一年間、里山の保全活動を体験しました。1年後、市民団体として活動を継続しようと言うこととなり、2003年に「つるがしま里山サポートクラブ」として発足しました。この活動を開始した時期に、埼玉県で「里の山守制度」が創設され、初めての対象団体となり補助金をいただきました。

さらに、団体の継続性を確立するため、任意団体からNPO法人への登録を行うました。

「特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブ」(以下NPO法人という)の発足です。これは、市の呼びかけから2年目2004年12月の事となります。NPO設立から2018年で15年目に入りました。NPO法人つるがしま里山サポートクラブも、足かけ16年目になります。

この活動を振り返ってみますと、会員の皆さんの努力によって、設立してから5年目までに、多くのプログラムを実施してきました。この段階が、現在の活動の基本となっています。当時は、仕組みをどのように盛り上げていくのか、この緑の保全活動を市民の皆さんに知ってもらい、支援してもらいたいと考えました。このために、他の市民活動の皆さんと一緒に活動したいと、市民活動団体の活動内容を知りたいと思い、情報を探しましたが、あまり無く、自分たちの活動とどう違うのかが解りませんでした。そこで、各活動団体の活動内容を市民の皆さんに紹介したいと「鶴ヶ島市民映画舎」を有志と設立し、60団体以上のプロモーションビデオを制作しました。この活動の中で、市民活動団体の相互理解が、あまりに不足していることを実感し、市民活動団体の交流を目指した「市民活動交流フェスタ」を皆さんと一緒に立ち上げ、準備会と称して、毎月開催し、市民活動団体の活動紹介、連携のあり方、協働活動などを実施してきました。このフェスタも10回目で、情報交換会と名称変更し継続されています。

また、活動開始時点の平成14年に、市内の樹林地の実態を市で調査してもらいました。その後、5年後毎に、団体の活動として調査を継続し、三時点の里山の実態を把握しています。このような調査を通じて、樹林地の減少要因の過半数が、道路などの公共施設の整備、残りは相続に伴う処分によることが判明しました。市の公共施設の整備に当たって樹林地の保全配慮をお願いしているところです。また、市民の森のイベントには沢山の市民の方に参加をしていただきました。

私たちの活動は、日常生活に関わる自然環境の大切さを「里山の保全活動」を通じて体験し、里山の貴重さ、次世代へ継承する大切さを共有し、理解を深めることを目的に活動しています。

近年は、東秩父村、坂戸市、毛呂山、気仙沼など活動範囲が広がっている事は、大変、喜ばしい事と考えていますが、このような活動を隣接町村へ広げ、ネットワークして行きたいと考えています。 (文責：小澤)

# 2017年度 総会(14期)

## 3.1 2017年度(14期)、総会、会議

2017年度通常総会			
会場	大橋市民センター	開催日時	2018.4.22(日)14:00~16:00
審議事項	2017年度事業及び収支報告、2018年度事業計画及び予算		
理事会(理事 10人、監事 2人)			
会場	市民活動推進センター、		
開催日	2017年7月19日、2018年4月7日		
代表理事:小澤邦彦 事務局:吉井 優、(2017年度より就任) 牛島哲雄、小沼英二、佐野英樹			
事務会議 毎月のイベントごとに必要に応じて、協議			

## 3.2 2016年度、2017年度、2018年度、助成事業

(単位：千円)

支援団体名	助成事業名	助成金
独立行政法人国立青少年教育振興機構	子どもゆめ基金助成金	428
埼玉県共済社会づくり課	埼玉県 NPO 基金助成事業	1,000
一般財団法人セブン-イレブン記念財団	環境市民活動助成	929
公益財団法人都市緑化機構	花王・みんなの森づくり活動助成	250
一般財団法人都市農村漁村交流活性化機構	森林・山村多面的機能発揮対策交付金	188
2016	合計	2,795
独立行政法人国立青少年教育振興機構	子どもゆめ基金助成金	2,056
埼玉県共済社会づくり課	埼玉県 NPO 基金助成事業	1,000
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	eco 保険証券・寄付活動寄付金	403
2017	合計	3,459
独立行政法人国立青少年教育振興機構	子どもゆめ基金助成金	2,188
一般財団法人セブン-イレブン記念財団	環境市民活動助成	1,244
2018	合計	3,432

### 3.3 活動計画書

法人名： 特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブ

## 活動計算書

2018年4月1日～2019年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	71,000	71,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	958,000		
資産受贈益	0		
施設等受入評価益	0	958,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	3,469,061		
受取行政補助金・交付金	0	3,469,061	
4. 事業収益			
イベント参加費	0	0	
5. その他収益			
受取利息	3,162		
雑収益	149,060	152,222	
<b>経常収益計</b>			<b>4,650,283</b>
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
講師など謝金	1,300,000		
スタッフ謝金	539,000		
交通費ガソリン代	50,602		
材料購入費	106,920		
印刷費	415,990		
会合費	68,023		
備品費	0		
消耗品費	689,379		
食材購入費	86,412		
道具リース料	228,000		
イベント保険料	19,320		
その他経費計	<b>3,503,646</b>		
<b>事業費計</b>		<b>3,503,646</b>	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費	64,998		
通信費	28,604		
ガソリン代	9,357		
諸会費	1,000		
会議費	27,636		
保険料	23,650		
修繕費	9,714		
事務用品	16,161		
車両リース料	27,540		
支払手数料	432		
減価償却費(モア、チップパー、チェンソー)	519,718		
雑費	10,600		
その他経費計	<b>739,410</b>		
<b>管理費計</b>		<b>739,410</b>	
<b>経常費用計</b>			<b>4,243,056</b>
当期正味財産増減額			407,227
前期繰越正味財産額			2,128,734
次期繰越正味財産額			2,535,961

法人名： 特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブ

## 貸借対照表

2019・3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	125,991		
普通預金	1,408,570		
前払費用	0		
未収入金	<b>299,908</b>		
子ども夢基金	299,908		
花王みどりの基金	0		
<b>流動資産合計</b>		<b>1,834,469</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	58,495		
工具器具備品	645,998		
<b>有形固定資産計</b>	<b>704,493</b>		
<b>固定資産合計</b>		<b>704,493</b>	
<b>資産合計</b>			<b>2,538,962</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	0		
26年度セブンイレブン助成金返却分	0		
預り金(28年度会費)	3,000		
<b>流動負債合計</b>		<b>3,000</b>	
<b>負債合計</b>			<b>3,000</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		<b>2,128,734</b>	
当期正味財産増減額		407,227	
<b>正味財産合計</b>			<b>2,535,961</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>2,538,961</b>



法人名： 特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブ

## 財産目録

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金		
現金	125,991	
普通預金	1,408,570	
三井住友銀行坂戸	730,472	
埼玉りそな銀行鶴ヶ島	424,073	
埼玉りそな銀行鶴ヶ島(勘定)	197,318	
郵便局	56,707	1,534,561
前払い費用	0	0
山林多目的交付金(未収)	0	
子ども夢基金(未収)	299,908	
花王みどりの基金(未収)	0	
未収入金	299,908	299,908
<b>流動資産合計</b>		<b>1,834,469</b>
<b>2. 固定資産</b>		
(1)有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
ハンマーナイフモアHMA80	26,250	
ウッドチップパー KCM127DXBP	1	
ルートカッターMS461	1	
ハンマーナイフモアHMB82	80,890	
発電器 ホンダEV162	32,076	
自動カンナ盤 日立100R4	28,512	
卓上糸鋸盤 ユタカYSC-51	20,315	
移動式製材機	234,758	
チェーンソー544xp	60,048	
チェーンソー550xp	79,963	
軽トラック	58,495	
アルミブリッジ	83,183	
<b>固定資産合計</b>		<b>704,492</b>
<b>資産合計</b>		<b>2,538,961</b>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
短期借入金	0	
26年度セブンイレブン助成金返却分	0	
未払い謝金	0	
預り金(28年度会費)	3,000	
<b>流動負債合計</b>		<b>3,000</b>
<b>負債合計</b>		<b>3,000</b>
<b>正味財産</b>		<b>2,535,961</b>

# 2017年度 活動一覧

## 1. 計画目標の取組と活動範囲

クラブの活動目的としては、市内に残された樹林地・里山（以下、里山という。）の保全・回復活動を継続的に実施することにより、次の各項目の継承と発展を目指す。

- ① 鶴ヶ島の自然環境を維持・発展させることにより、市民の皆さんに潤いのある緑豊かな市民生活が享受できる環境を提供する。[環境保全]
- ② 現状の鶴ヶ島の里山は減少傾向が続いているが、残された市民の森等を維持・継続することによって減少への歯止め効果を期待する。[里山減少の歯止]
- ③ 子どもたちに里山の自然環境を体験してもらうことで、自然の豊かさ、素晴らしさを理解してもらい、次世代への長期的な礎づくりを実施。[次世代への継承]
- ④ 鶴ヶ島市は少子高齢化や今後の財政逼迫化状況を踏まえ、ボランティアや市民活動団体を有効活用する方向であり、行政との協働活動を一層進める。[行政との協働]
- ⑤ 市民の森は各地の支え合い協議会、市民活動団体、カローレ等との協働イベント会場としての役割があり、他の市民団体にない“場の提供”機能を生かす。  
[市民活動のプラットフォーム]
- ⑥ 以上の活動を通して、会員相互間の親睦を図りながら、楽しく遊ぶ時間を共有する。  
[会員親睦]



市民の森の維持活動



子供の自然体験



門松づくり



プレイパーク



維持活動で会員親睦



木工

### 1. 特定非営利活動法人つるがしま里山サポートクラブの活動分野

		特定非営利活動										
		(1) 環境の保全を図る活動	(2) 子どもの健全育成を図る活動	(3) 経済活動の活性化を図る活動	(4) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	(5) まちづくりの推進を図る活動	(6) 社会教育の推進を図る活動	(7) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	(8) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	(9) 災害救援活動	(10) 地域安全活動	(11) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
特定非営利活動に係る事業	① 人の手を必要としている樹林地の伐採、下草刈り、枝打ち等の維持管理を行う里山維持管理に関する事業	○市民の森維持活動				○市民の森の公開	○ボランティア体験、		里山の役割			
	② 里山の自然の恵みを通じた子ども達の健全育成事業		○タケノコ掘り、ツリーリング				○プレイパーク					
	③ 間伐材などを生かした木材加工活動、技術開発等職業能力開発事業			間伐材の商品化	○木工教室							
	④ 里山を活かしたレクリエーションによる市民団体との交流事業	○プレイパーク	○子供サーメン流し			○地域支え合い協議会、桜祭り、キャンドルナイト	○藤小の学習講座					
	⑤ 里山の調査・保全活動及び、環境の保全に関わる一切の事業	○小彼岸桜の苗木育成				○環境イベント参加、大谷川清掃活動			○気温調査、樹木、鳥類、キノコ調査		災害時の救援体制準備、マニュアルづくり	○一三との連携
	⑥ 里山を活用した健康づくりなど保健、福祉の増進事業						○門松教室	障害者、高齢者の森体験				○門松教室
	⑦ 間伐材などを活用した住宅改修及び福祉用具の開発、設置事業			手すり、福祉器材の製作								
	⑧ 地域の安全安心に関わる事業									東日本大地震支援		-

### 3.5 平成 29 年度に実施した事業

#### 1. 里山で自然体験できる活動を行う

□子ども達に自然の体験を通じて生態系の仕組みの『気づき』や理解を深めていくことが課題である。子供たちの里山での活動、自治会、学童クラブ、小中学校との協働活動によるボランティア体験、藤金小学校の市民の森体験学習を実施した。

7月7日 藤金民の森藤小3年自然体験授業:会員参加者4名、子供75名

プログラムは、①樹木名札付けと竹細工班に分かれて授業開始、②樹木の名前説明と見分け方、③小班に分かれて樹木名札を付ける。で開始した。時間が余ったら、穴掘り体験もおこなう。竹細工班は、林で竹を伐採し広場に運び、ブルーシートの上でお椀づくりを全員で行う。残った時間で、ささ舟をつかった。



#### 2. 里山の役割を理解できる資料を作成

□里山の自然環境の理解を深める資料として、高倉市民の森の植物、キノコ、鳥類調査を実施した。

□調査結果を植物図鑑、鳥類の図鑑、キノコ図鑑として出版した。

7月1日 キノコ観察会:参加者4名、雨の中の作業であったが、約30種類のキノコを確認した。

きのこで森の元気度が分かる。イグチが生える森は少し元気がない。ナラタケが生えると5年で森がスカスカになると言われているなど



7月16日 高倉初夏の植物調査 参加者5名:

昨年は野草29種、樹木32種、計61種であったが、現時点での調査結果は新たに野草44種、樹木19種、計63種と昨年より上回る結果となっている



植物図鑑(64P)、キノコ図鑑(28P)、鳥類図鑑(90p)、各 A5 版

### 3. 市民の森を活用した市民交流イベント

#### (1) キャンドルナイト

6月17日:会員参加者12名、市民の参加者は、約300名

午前中に準備作業として竹筒250本を制作、これに伴って発生する孟宗竹の葉を、高坂こども自然動物園へレッサーパンダ用餌として供給した。17:00からは竹筒にローソクを灯し、幻想的な空間となった。クラブとして模擬店で餃子を販売した。



#### (2) 飯盛川清流復活大作戦とホタル

本クラブ開始以来継続している、高倉市民の森を流れる飯盛川の清掃活動であります。

- 当初、人が入れないほどうっそうとした森であった高倉の森は、多くの樹木の伐採や下草刈りにより、人が入れるようになった。その際、森を流れる川が大変汚染されており、これを清掃しなければと解したものの、人手不足であったので、市民に呼びかけて、清掃活動を実施しようとした。第一回清流復活大作戦と銘打ったイベントは、約100名に及び参加者に恵まれ、どぶ川となっていた川から、世帯道具に匹敵する家財(冷蔵庫、自転車、学習机、ベッド、洗濯機、その他たくさんの廃棄部)が搬出されました。これは、大型トラックいっぱいの量となりました。
- その後、鶴ヶ島の自然を守る会の鈴木さんなど共同して、水質調査をしたところ、温度が高く、塩分もあるとのことで、何が原因かわからないので、上流に向かって沿線を調査しました、結果は、多くの生活排水、飲食店の排水、お菓子工場の排水、水源の場所にはマルちゃんの工場があり、ちよろちよろ流れる水源のそばに、大量の工場排水が流入していました。
- そこで、飯盛川清流復活大作戦の開催に当たり、沿線地域の方々に参加を呼び掛け、チラシをまき呼びかけました。結果、東洋水産の方々など5-6人ほどの参加をいただきました。その後、イベントごとにたくさんの焼きそばの差し入れもいただき感謝しております。
- その後、会を重ねるごとに、飯盛川はきれいとなり、カワニナが自然発生してきたので蛍も出るのではないかと、待ちましたが2-3年たっても出ませんでした。そこでしびれを切らして、蛍を入れようとして、近所で飼育しているところをお願いしたところ、協力が得られなく、仕方がないので、どこかで販売していないかとインターネットで調べたら、1匹250円で売っているとのこと、100匹購入して、蛍の夕べを開催しました。籠を開けると蛍が一斉に飛び立ちましたが、森の上の方へ飛んで行ってしまい、1分前後で見えなくなりました。大変贅沢な蛍会であったと、参加の皆さんとビールで乾杯しました。来年は何とかなるのではないかと希望的観測で、規制をあげましたが、翌年は全く蛍の面影も見られませんでした。
- ダメかとあきらめていたところ、翌々年の6月に子供たちから森がおかしいという電話が入りました。前に子供たちが森の中でたき火をして樹木に燃え移り、消防車が出る騒ぎがあり、また、火事が起こったかと、あわてて森に駆けつけました。
- 森の中は、クリスマスのイルミネーションを付けたのではないかとこのほど、たくさんの蛍が飛んでいました。これが今から約8年前です。
- その後、毎年、蛍が発生するようになり、現在に至るという経過です。



## 6. 木工教室

間伐材を活用した木製品の制作として、市民の森の野外テーブル、孫のための木馬、気温観測のための百葉箱を制作した。

11月9日 木工教室 会員4名

百葉箱の制作準備や制作を実施した。今回は、10カ所の設置予定数を制作した。

1月21日木工教室 参加者11名

間伐材を利用した木工品の作成、百葉箱で20名ほど参加。

○ 事前準備としてテーブルを設置、見本展示工具類は提供

○ 県 NPO 活動促進事業の担当が視察

参加者には作製する品を決め、素材の大きさ等をスタッフに伝え、切断してもらった。安全管理に関し電動工具を使う時は、スタッフに声をかけ使い方、注意点を聞いた上であわてずに作業する等安全第一で作業することを説明し、作業に入った。

- ・ 制作品はまな板、表札テーブル工芸品等
- ・ 道具類は、かんな、サンダー、トリマー、丸ノコ、インパクトドライバなど

2月10日 木工教室 会員9名 市民12名

表札、棚板、置台、工芸品などの希望あり。

○ 道具工具は、かんな、サンダー、トリマー、丸ノコ、インパクトドライバなどで、その使い方を指導

○ 加工機械として、糸鋸、ボール盤、コンターマシンの使い方を指導する。

○ 廃材を切断し、ドラム缶で火を燃やし、焼き芋を焼いて食べながら、木工教室についての意見を徴収。その後、出来た作品をもって13時に解散。後、木馬などキット品の作成をし、販売の可能性を検討する。



この事業は、埼玉県 NPO 基金の助成を受けています

### 木工体験教室

間伐材を使って 親子で電動工具の使い方を覚えながら、木工品を作ってみよう。

H30年1月21日(日)、2月10日(土)  
9時30分～12時30分  
里山木工課(緑小学校裏)

【作業】  
・間伐材の丸太、木材を利用した木工品の作成  
・スタッフによる電動工具の使い方、木工品製作指導  
・自作品はお持ち帰りできます。  
・参加費 無料、予約不要

【材料・機材】  
・薪材は無料。  
・丸太、板材、精工部品、輪切りの材は1個300円。  
(里山の会員に加入されている方は無料)  
・2×4材も用意しています。

【使用する木工機械、電動工具】  
・チェーンソー、グラインダー、  
・サンダー、インパクト、トリマー、  
・木工旋盤、電気カンナ、まな板専用カンナ、  
・コンターマシン、糸鋸、電動盤など。

【作製例】  
・チェンソーアート、丸太椅子、  
・回収テーブル、指輪盤、まな板、本物針  
・木工椅子、木製おもちゃ、表札、看板など

【主催・お問い合わせ】  
・NPO法人 つるがし里山サポータークラブ  
・Mail: [yoyukishi@dream.com](mailto:yoyukishi@dream.com)  
・Tel: 080-3688-7868 (吉井)  
・HP: <http://tsuryama-support.com>



## 7. 平成 29 年度活動一覧

月	日		活動 №	内 容	参加者数			運営 スタッ フ数
					会員	一般	合計	
2017 4 月	1	土	1	東市民センター 結桜まつり	13	150	163	10
	23	日	2	五味ヶ谷市民の森 タケノコイベント準備	7		7	2
	29	土	3	五味ヶ谷市民の森 タケノコ掘りイベント	18	78	96	10
5 月	17	水	4	サクラ新芽採取	6		6	
	19	金	5	藤小3年生森案内	3	75	78	2
	21	日		定期総会	15		15	
	28	日	6	第25回飯盛川清流復活大作戦	9		9	2
6 月	10	土	7	藤金市民の森整備	9		9	2
	14	水	8	桜新芽再採取	5		5	2
	17	土	9	キャンドルナイト 昼の部	9	2	11	
	17	土	10	キャンドルナイト 夜の部	11	200	211	
	24	土	11	高倉プレーパーク	13	160	173	20
7 月	1	土	12	キノコ観察会	4		4	
	7	水	13	藤金市民の森 藤小3年自然体験	4	75	79	2
	8	土	14	五味ヶ谷市民の森 そうめん流しイベント	13	189	202	10
	23	日	15	高倉市民の森整備 ボランティア体験会	8	4	12	3
8 月	5	土	16	五味ヶ谷市民森整備 ボランティア体験会	8	3	11	2
	19	土	17	高倉市民の森整備 ボランティア体験会	6	8	14	3
9 月	2	土	18	藤金市民の森プレーパーク	13	230	243	50
	16	土	19	キノコ観察会	1	3	4	1
	23	土	20	逆さ木倉庫整備	10		10	
10月	4	水	21	藤小学習会	4	70	74	2
11月	1	水	22	藤金市民の森 ふしぎいっは° いまつり	3	120	123	
	11	土	23	五味ヶ谷市民の森整備	6		6	20
	18	土	24	五味ヶ谷市民の森 里山体験会	14	100	114	2
	19	日	25	第12回 大谷川クリーン大作戦	6	12	18	
12月	9	土	26	五味ヶ谷整備 門松教室準備	13	15	28	2
	23	土	27	東市民センター門松教室	14	87	101	10
2019年1	21	日	28	藤金木工体験教室	11	20	31	2
2月	10	土	29	藤金木工体験教室	9	12	21	2
	25	日	30	藤金木工体験教室	9	1	10	2
3月	3	土	31	竹林の恵み体験	11		11	2
	24	土	32	藤金の森整備	8		8	2
合計					293	1,614	1,907	167



## 4. 2018年度(平成30年度)の事業計画

### 4.1 活動目標

本年度の事業計画は、従来の活動に加え、1000本の小彼岸桜プロジェクト、地域気候変動調査などを新たな取り組みとして位置づける。

- ① 市民の森は平成14年(2002年)より施行されているが、平成23年度、29年度に解除が2件あり、現在6か所13.7haとなっている。
- ② 市民の森の新規開拓を志向するが一定の困難さがある。そうした中、農業大学校跡地は早晚、企業誘致がなされるが、跡地面積の40%を緑地として保持する方針は維持されており、公園、運動施設、調整池、道路、駐車場等今後の検討で見えないところがあるが、約7haの緑地が残されることは見通され、跡地全体が区画整理された後、鶴ヶ島市に移管されることとなっている。移管後の管理・保全方法については市として今後の課題となっているので、当クラブで実施してきたノウハウ・技術・機械化等をどのようにかかわっていくのかは今後の検討事項となるが、市内での大型緑地は最後となることから、情報収集を初め、今年度から取り組む必要がある。
- ③ 高倉、藤金、五味ヶ谷市民の森の保全活動の継続実施。
- ④ 藤小3学年の環境学習への支援活動は今年度も実施される予定であるので他団体も含め、積極的に関与する。
- ⑤ ゆめ基金の助成が得られたことから、次のイベントを実施し、支え合い協議会、市民活動団体、カローレ等との協働事業を継続して実施する。
  - ・高倉、藤金、五味ヶ谷市民の森でのプレーパークの実施
  - ・タケノコ、流しそうめん、門松イベント
- ⑥ 社協主催のボランティア体験会への参加
- ⑦ 大谷川クリーン大作戦は秋の市内道路清掃時に実施してきたが、年1回では大量ゴミを処理できないため、春の市内道路清掃時にも実施する。
- ⑧ 木工教室の定期的な開催

平成30年度の月刊活動計画は、次のページに示す通りです。

## 4.2 月別活動計画

月	日	曜	実施事項	内容	実施主体	助成金	5号	6号	8号	備考
4	7	土	桜結祭り	第4回	実行委員会		1			
	22	日	五味ヶ谷整備	タケノコイベント準備	当クラブ		1			
	29	土	タケノコ堀	タケノコイベント	当クラブ	夢	1			
5	12	土	定期総会		当クラブ					
	20	日	大谷川クリーン大作戦		当クラブ				1	春季道路清掃
	26	土	飯盛川清流復活大作戦	第26回	当クラブ			1		
6	9	土	高倉プレーパーク		当クラブ	夢			1	西部支え合いと共催
	16	土	キャンドルナイト	のんのんに参加	のんのん	夢	1			五味ヶ谷の竹林利用
7	7	土	そーめん流し		当クラブ	夢	1			杉下支え合いと共催
	28	土	高倉整備・ボラ体験		当クラブ			1		
8	11	土	五味ヶ谷整備・ボラ体験		当クラブ		1			
	25	土	藤金整備・ボラ体験	イベント準備	当クラブ				1	
9	1	土	藤金プレーパーク		当クラブ	夢			1	中央支え合いと共催
	22	土	逆木倉庫清掃・整備		当クラブ					
10	21	日	大谷川クリーン大作戦	第13回	実行委員会				1	秋季道路清掃
	28	日	五味ヶ谷整備		当クラブ		1			
11	17	土	五味ヶ谷プレーパーク		当クラブ	夢	1			福幸市と同日開催
	24	土	高倉整備					1		
12	8	土	五味ヶ谷整備	忘年会、門松準備	当クラブ		1			
	22	土	門松教室（東センター）		当クラブ	夢	1			杉下支え合いと共催？
	24	日	門松教室（坂戸）		一二三	夢協力				日程？
1	5	土	高倉整備	新年会	当クラブ			1		
	26	土	木工教室		当クラブ					
2	9	土	五味ヶ谷整備		当クラブ		1			
	23	土	逆木倉庫清掃・整備		当クラブ					
3	9	土	木工教室		当クラブ					
	23	土	高倉整備		当クラブ			1		
						計	11	5	5	

## 5. 2018年度(平成30年度)の収支計画

### 5.1 2018年度(平成30年度)予算(案)

科目		項目	平成30年度予算
I 収入	1	受取会費 25.35	80,000
	2	受取寄付金	610,000
	3	受取助成金(セブン)	1,243,774
		(花王)	0
		(県NPO促進)	0
		(アイイ日生同和)	0
	4	(夢基金)	2,188,000
事業参加費		65,000	
5	チャパ-指導料	50,000	
6	その他受取謝礼	0	
経常収益計			4,236,774

II 経費	-1	人件費		9,000
	-2	事業経費	イベント謝金	1,065,000
			イベント謝金(里山)	580,000
			旅費交通費	51,000
			ガソリン代	31,000
			材料・資材	50,000
			印刷費	213,170
			会合費	60,000
			工具器具、備品(資産)	915,624
			消耗工具・刃具	362,940
			食材購入	64,000
			道具レンタル	234,000
			保険料、活動雑費	47,000
			外部委託	0
			雑費	0
			経費計	3,682,734
	-3	一般管理費	雑給	0
			旅費交通費	60,000
			通信費 fax	10,000
			燃料費	0
			諸会費	1,000
			会議費	20,000
			保険料	36,000
			修繕費 車検	70,000
			事務用品、	10,000
			消耗品	19,000
			租税公課	45,000
			雑費	2,094
			一般管理費計	273,094
			償却前経費合計	3,955,828
			減価償却費	340,946
費用計				4,296,774
当期増減額				280,946



